

イビデン株式会社

大垣事業場の環境活動

大垣総務T

環境側面の法遵守

1. 水質:河川放流
2. 大気:ボイラー・コージェネ
3. 騒音

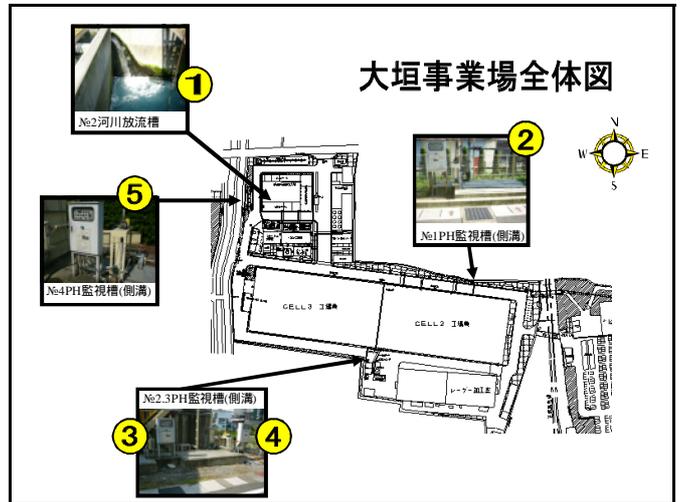


環境側面の法遵守



1. 水質:河川放流

	場所	遵 守	別紙
工程排出	①	PH、GOD、BOD、銅含有量 窒素、リン、ほう素、鉛 他、全部15対象物測定	2回/月 ①
		PH、TOC、TN、TP測定	毎日連続
雨水	②③ ④⑤	毎日連続:PH測定 異常時警報・記録(巡視)にて	



①

測定項目	3月1日	3月14日	3月20日	3月24日
PH	7.9	7.4	7.2	7.6
COD	5.4	2.5	1.1	0.6
CO	2.2	0.8	0.9	2.4
SO	0.5	0.5	0.3	10.3
銅	1検出	1検出	1検出	1検出

計量証明書

イビデン株式会社 大垣事業場

測定項目: PH、GOD、BOD、銅含有量、窒素、リン、ほう素、鉛、他、全部15対象物測定

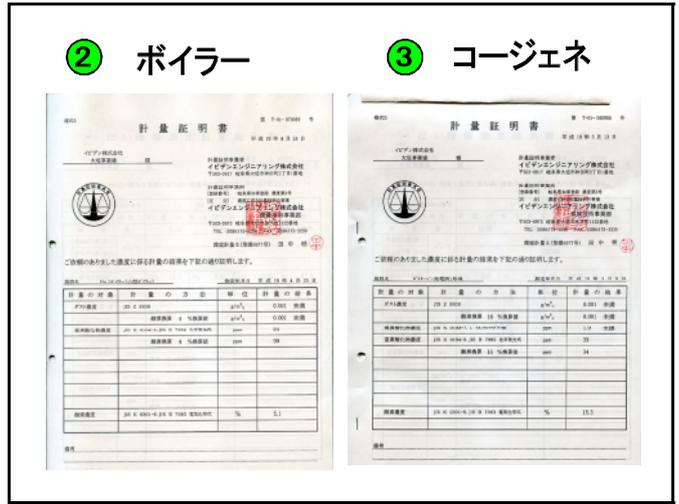
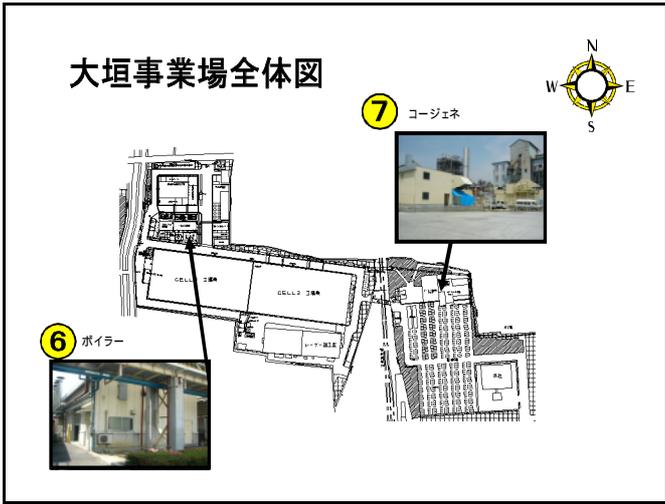
測定日時: 3月1日、3月14日、3月20日、3月24日

測定結果: PH 7.9, 7.4, 7.2, 7.6; COD 5.4, 2.5, 1.1, 0.6; CO 2.2, 0.8, 0.9, 2.4; SO 0.5, 0.5, 0.3, 10.3; 銅 1検出, 1検出, 1検出, 1検出

環境側面の法遵守

2. 大気:ボイラー・コージェネ

	場所	遵 守	別紙
ボイラー	⑥	ダスト濃度、硫黄酸化物濃度、 窒素酸化物濃度測定	②
コージェネ	⑦	ダスト濃度、窒素酸化物濃度測定	③



環境側面の法遵守

3. 騒音

	遵 守	別紙
騒 音	騒音レベル(dB)・・・四カ所測定	④ (場所) ⑤

環境側面の法遵守

3. 騒音

大垣事業場周辺 4カ所測定

④

⑤

廃棄物の管理・処分

ダイオキシン類特別措置法の規制により、
焼却していた廃棄物の全量をリサイクル処理化

1. ゴミ焼却炉を廃止
2006年1月
2. 廃棄物分別ステーション作成
2007年2月

工場からできるものは全てリサイクル処理

マテリアルリサイクル (廃プラスチック等を様々な原料に戻す)	80%
サーマルリサイクル (燃焼させ熱を再利用する)	20%
直接埋立処分ゼロ達成!! <03年12月末>	100%

2006年度工程廃棄物量

	品名	年間重量(t)	リサイクル先
有価物	廃プラ	423	県内
	廃基板	119	県外
	紙・段ボール	245	大垣市
	鉄	94	県外
	銅・銅ボール	147	県外
	汚泥(硫化、他)	3,101	県外
	小計	4,129	
産廃	保護具	39	県外
	廃プラ・塩ビ	430	県外
	マスク・ガラス・ピン	5	県外
	特化物スラジ	154	大垣市
	一般ゴミ	37	県外
	汚泥(生物、他)	1,753	県外
	小計	2,418	
	総合計	6,547	

地域への社会貢献活動



1. 工場周辺の美化活動

(3回/年 5月~8月)

企業市民としての意識向上を図るため、当社は「地域社会への貢献活動」を重視しています。

毎年、事業場で「工場周辺美化活動」を実施しています。



---活動風景---

緊急対応:流出防止訓練



PH監視槽遮断

廃液の汲み上げ訓練

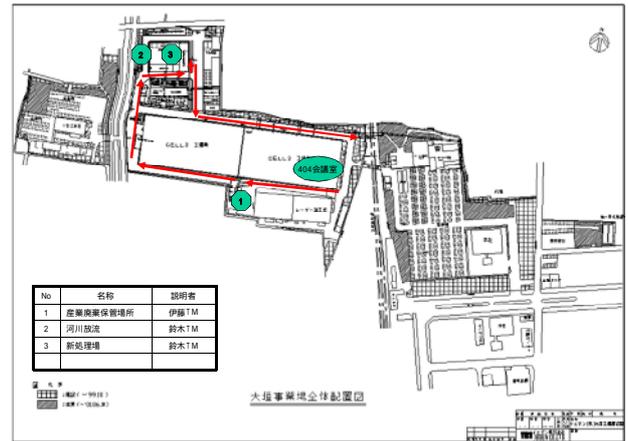
「緊急時の著しい環境側面」に対する「手順のテスト・検証」を、事業場で計画し実施しています。 4回/年



側溝内土壌にて遮断

地域リスクコミュニケーション時の順路

作成07.05.09



IBI IBIDEN CO.,LTD.

イビデン株式会社
大垣事業場